

## 指定管理者評価シート

## 一 管理運営の状況

1	施設名	海岸公園の一部(冒険広場及びキャンプ場を含む。)	
2	指定管理者	冒険あそび場-せんだい・みやぎネットワーク・東洋緑化共同企業体	
3	指定期間	平成23年4月1日から平成28年3月31日まで	
4	施設の利用状況	《利用者数》 東日本大震災の影響で、一般来園者の利用は無かった。	
		《事業》	
5	収支の状況	《費用》 ( )は前年度決算額	
		・ 指定管理者に支払った費用	1,843千円 (1,847千円)
		・ その他市が負担した費用	千円 ( 千円)
		《収入》	
・ 使用料収入	千円 ( 千円)		
・ その他収入	千円 ( 千円)		
6	利用者の声	《実施状況》 東日本大震災の影響で、一般来園者の利用は無かった。	

## 二 管理運営に係る評価

(モニタリングシートの結果によって評価)

評価分野		所見	評価
I	総則	【評価できない理由】 東日本大震災の津波による被災のため、施設を開園していないため。	
II	施設の運営管理体制	業務に従事する職員を適切に配置し、管理業務を適切に行っている。	S
III	施設・設備の維持管理	【評価できない理由】 東日本大震災の津波による被災のため、施設エリアの巡回等のみを実施のため。	
IV	サービスの質の向上	適切な管理のための、職員のスキルアップ等の取り組みが十分に行われている。	S
V	施設固有の基準	【評価できない理由】 東日本大震災の津波による被災のため、施設を開園していないため。	

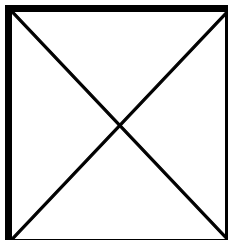
### 三 その他特に評価すべき優れた取組み

(指定管理者の優れた取組みを評価する 加点要素)

評価すべき取組み		取組み状況
1		
2		
3		
加点評価		—

### 四 評価総括

《指定管理者（冒険あそび場-せんだい・みやぎネットワーク・東洋緑化共同企業体）による自己評価》
<p>平成27年度は指定管理者として、3期目の最終年度(5年目)であったが、東日本大震災の影響により、平成23年度以来の休園が続いている。そのため、指定管理業務は、昨年度に引き続き週1回の園内巡回と年1回の除草、および視察対応が中心となった。</p> <p>園内の状況として、敷地内を暗渠で横切る二郷堀導水路の工事が26年度末で終了し、27年度は本格的に公園本体の復旧・復興工事へと入っていった。また、周囲では国有林のかさ上げ盛り土工事(林野庁管轄)や、貞山運河復旧工事(宮城県管轄)、圃場整備事業(農林水産省管轄)が進み、園内外の状況は刻一刻と変わっていった一年だった。</p> <p>このような中、平成30年予定の再開後の公園の機能&lt;震災前からの機能の復旧に加え、避難機能の拡充・震災記憶を継承する機能の付加＝海岸公園復興基本構想の基本方針による&gt;を見据え、単なる巡回等の管理のみではなく、より積極的な役割を担うよう努めた。具体的には、公園の被災状況やその後の変化(工事による人工的な変化から、自然環境の変化まで含む)の保存・記録や、復旧工事についての情報提供・提案を行なった。</p> <p>また、休園中ではあるものの、地域に貢献することを意図して地元小学校と連携、総合学習の時間での見学について協力した。また、そのほか研究者等の視察も受け入れ、震災の教訓の発信にも力を入れた。その他、震災発生後の公園の状況を案じる震災前の公園利用者に対し、公園周辺地域での遊び場活動の現場(仙台市海岸公園冒険広場サテライト業務として実施する遊び場のほか、多くの自主活動としての遊び場)を中心に、現状や再開見通しなどを伝え続け、再開後の新たな公園への橋渡しになる取組みに努めた。</p> <p>なお、本公園が暫定的な津波避難場所に指定され、緊急時には周辺部の工事従事者が避難してくることが予定されていることを受け、津波防災訓練に参加するなどして万々に備えた。</p> <p>震災復興の現状から限定された業務となったが、指示された業務に留まらず、必要とされるものが何かを見出し取り組んだ一年だった。</p>

《施設設置者（仙台市）による評価》	総合評価
<p>【総合評価できない理由等】</p> <p>東日本大震災の津波による被災のため施設を開園しておらず、指定管理業務の仕様変更により実施業務が施設エリアの巡回等のみとしているため、総合評価はしていない。</p>	

◎ 評価担当課（施設所管課）：建設局百年の杜推進部公園課